

ウイルス様エリメント

研究プロジェクト「コア1」



石野史敏氏



渡辺登喜子氏



扇屋大輔氏

ウイルスの遺伝子検出で連携研究を 渡辺

中川 先生は先住ウイルスドメイン、例えばアフリカのシエラレオネを訪れてサンプリングされていますが、そうした経験もお聞かせください。

総医研の研究者のまとめが必要 森

中川 先生は森先生にお伺いします。今回のプロジェクトに際し、森先生が総医研というものは何かを記憶しているように感じます。

ヒトゲノムの未知配列は最後のフロンティア 石野

中川 先生、ありがとうございます。石野先生、これまでの研究で技術革新が先生の研究を進展させたことについてお聞かせください。

NGSの進歩などががん研究も進展 扇屋

中川 先生、ありがとうございます。扇屋先生、がん研究の分野では、NGSにより全ゲノム解析などが進んでいるように感じます。

AI技術を見越した対応が医師にも必要 森

中川 先生、ありがとうございます。森先生、AI技術の進歩が医療の分野でも大きな変化をもたらしているように感じます。

環境の劇変は脅威ではなくチャンス

2024年の建学100周年を見据えた教育改革に加え、医療現場の改革も時代の先駆けとなる様々な活動を行っています。



総医研に寄せる期待 東海大学学長 松前義昭

東海大学は、建学100周年を迎え、平和と福祉の向上を旨とする「ヒューマン・サイエンス」を軸とした科学研究を育成し、総合教養院として数多くの人材を社会に送り出してきました。

2024年の建学100周年を見据えた教育改革に加え、医療現場の改革も時代の先駆けとなる様々な活動を行っています。

5つの研究部門「体制再編で新たなスタート」 患者本位は不動 最良の治療法開発目指す

オミクス部門(コア2プロジェクト)

コア2プロジェクト名「電子カルテ情報解析のためのプラットフォーム構築」

この研究は、東海大学医学部付属病院における抗がん剤使用履歴の解析を目的とした研究を進めてきた。この研究では、抗がん剤の使用履歴を解析し、副作用の発生率を低減させることを目指している。

脳神経機能部門

脳神経機能部門では、脳神経疾患の診断と治療の向上を目指している。最新の画像診断技術とAI解析技術を活用し、患者の個別化医療を実現している。

感染免疫機能部門

感染免疫機能部門では、感染症の予防と治療の向上を目指している。最新の診断技術と治療法の開発に取り組んでいる。

再生医学部門

再生医学部門では、組織再生と修復のメカニズムを明らかにし、再生医療の実用化を目指している。最新の細胞培養技術と遺伝子編集技術を活用している。

病態生理部門

病態生理部門では、病態のメカニズムを明らかにし、治療法の開発に取り組んでいる。最新の動物モデルと解析技術を活用している。

電子カルテ情報解析のためのプラットフォーム(完成イメージ)

